

経営比較分析表

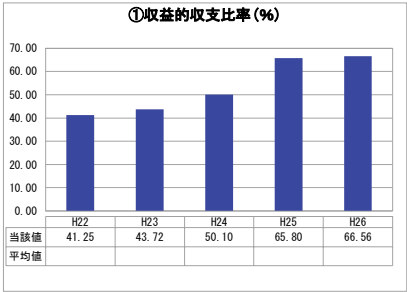
埼玉県 越谷市

業務名	業種名	事業名	類似団体区分	
法非適用	下水道事業	公共下水道	Aa	
資金不足比率(%)	自己資本構成比率(%)	普及率(%)	有収率(%)	1か月20㎡あたり家賃料金(円)
-	該当数値なし	82.83	90.56	2,100

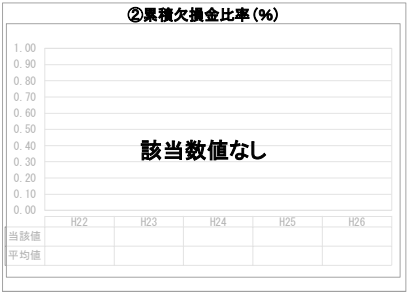
人口(人)	面積(km ²)	人口密度(人/km ²)
333,736	60.24	5,540.11
処理区域内人口(人)	処理区域面積(km ²)	処理区域内人口密度(人/km ²)
277,226	27.54	10,066.30

グラフ凡例
■ 当該団体値(当該値)
— 類似団体平均値(平均値)
【】 平成26年度全国平均

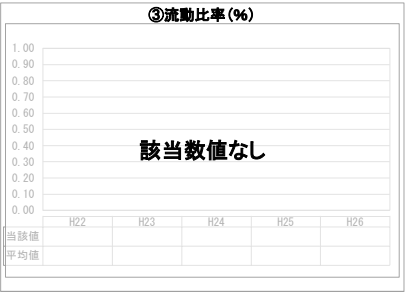
1. 経営の健全性・効率性



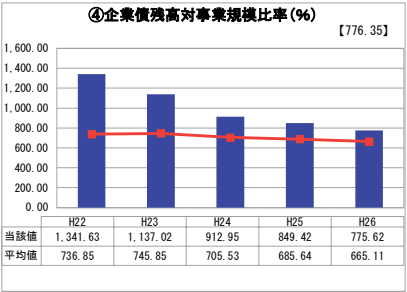
「単年度の収支」



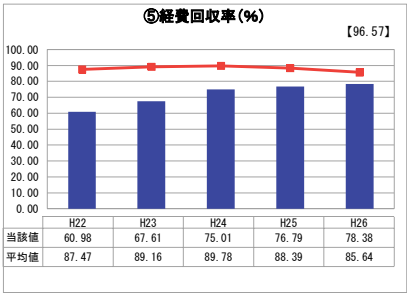
「累積欠損」



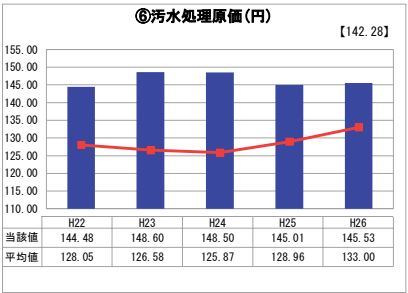
「支払能力」



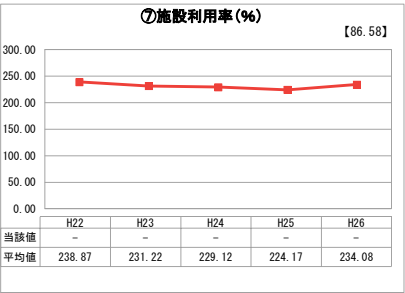
「債務残高」



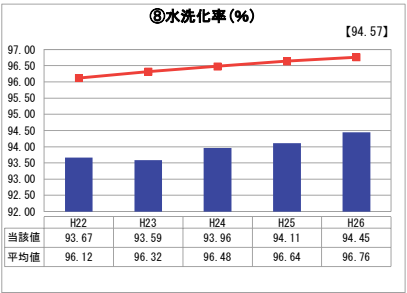
「料金水準の適切性」



「費用の効率性」



「施設の効率性」



「使用料対象の捕捉」

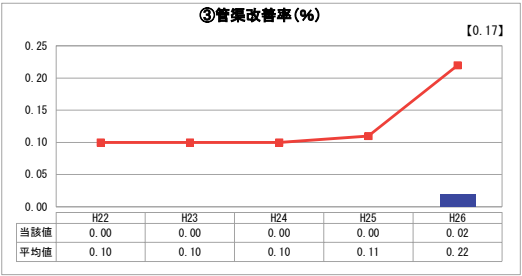
2. 老朽化の状況



「施設全体の減価償却の状況」



「管渠の経年化の状況」



「管渠の更新投資・老朽化対策の実施状況」

分析欄

1. 経営の健全性・効率性について

①収益的収支比率、⑤経費回収率ともに100%には及ばない数値であるものの、経年で比較した場合にはいずれも改善傾向にある。④企業債残高対事業規模比率が下降傾向であることは、起債残高が減少していることを示しており、それに伴い年間の償還額についても減少傾向にある。今後も償還額の減少により⑥汚水処理原価の上昇が抑制され、①収益的収支比率、⑤経費回収率の改善は進むと考えられる。

2. 老朽化の状況について

長寿命化計画に基づき、平成25年度より管渠の更新を実施している。平成26年度は管渠更生工事を実施しているため、改善率が上昇している。引き続き、効率的な改修工事を実施しながら、施設の適切な管理に努めていく。

全体総括

平成27年に開催された越谷市下水道事業運営審議会において、下水道料金について見直しを行う旨の答申があった。答申のとおり料金改定を行った場合、①収益的収支比率、⑤経費回収率については更に改善が進むと考えられる。

※ 法適用企業と類似団体区分が同じため、収益的収支比率の類似団体平均等を表示していません。

※ 平成22年度から平成25年度における各指標の類似団体平均値は、当時の事業数を基に算出していますが、企業債残高対事業規模比率及び管渠改善率については、平成26年度の事業数を基に類似団体平均値を算出しています。